

どうもね！が響き合うまち 石巻

こねっと

Vol.8



長渡青空復港市場（牡鹿地区）

発見! 離島で見つけた支え合いのかたち

- 支え合う地域づくりの現場から
- 地域の魅力にふれる：じいばあいーっす！

こねっと、とは…「こねる」と「ネットワーク」（つながり）を組み合わせた造語で、地域が混ざり合うことでたくさんのつながりが生まれるようにとの想いが込められています。こねっとでは、市内の「支え合い情報」や「生活支援情報」のほか、地域のみなさんの頑張りを発信していきます♪

石巻市生活支援体制整備事業



発見!! 離島で見つけた支え合いのかたち

これまで、地域の何気ない支え合いや制度を利用した暮らしを支える活動を特集してきました。

今回は住民が自主的に行っていいる、牡鹿地区・網地島の2つの活動を紹介します。

島に限らず、色々な場所でこのような住民同士の支え合いがあります。

困っているときは助け合う、それが地域で支えあって生きていくことにつながるのではないか。」



水産業が主産業の網地島では震災後に島を離れてしまった島民もたくさんいます。しかし、「この島で最後まで暮らしたい」という方もたくさんいます。生活に必要なものはすべて船で運ばれてくる網地島には、水道や電気、パンク修理などの暮らしを支えるサービスはありません。

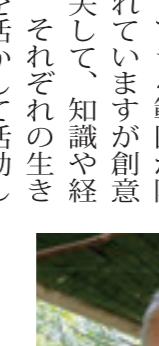
ひとり暮らしの方も増え、「身内にしかできないこともあるけど、隣近所でもできることははあるはず」と、行政区の中でも相談し隊員を募つて『網地行政区生活お助け隊』が生まれました。

「こんなことも頼んでいいのかな、
と心配していたから聞いてあげて」と
声をかけてくれる人もいますよ。そん
な時は、「大丈夫だから」と答えて安
心してもらうようにしています。

何よりも、「困っている」と言える
関係性や、「あの人気がこのことで困つ
てるって言つてたよ」って気にしてく
れる人が近くにいることが大事かな。

で、できる範囲が限られていますが創意工夫して、知識や経験、それぞれの生き方を活かして活動しています。

「できないかもしれないけど…」と
言つてやつてみると、「いいっぢや～」
と言つてこちらへ来られます。



A portrait of an elderly man with short, light-grey hair, smiling warmly at the camera. He is wearing a dark purple t-shirt with a horizontal band of blue flowers across the chest. The background shows a wooden structure with a thatched roof and some green foliage.

- 活動内容:庭のお手入れ、水道のトラブル、インターネットでのお買い物(船着き場の受け取りとお届け)、粗大ごみなどの処理、衣替えのお手伝い(脚立に上がる作業)など。



お問い合わせ 社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会 地域福祉課

〒986-0825 石巻市穀町15番2号 石巻市ささえあいセンター3階
TEL 0225-24-8509 FAX 0225-96-
csc.sc@ishinomaki-shakyo.or.jp



● 青空復港市場は月2回、注文票を確認し世帯ごとに仕分け、値段をつける作業を、現在メンバー5人が担っている



震災前20件あつた商店は、現在ではわずか3件ほどに減り、市内から來ていた八百屋の移動販売も東日本大震災を機に来られなくなりました。特に高齢者の多いこの地域では、商店までの移動手段がなく、買い物を大変に感じている住民が多くいました。

そのような状況を見かねた婦人会のメンバーが、食料品や生活必需品をまとめて購入し、公民館を会場に市場のようない形で販売を始めました。当初は、防災無線を使って広報し直接販売していましたが、売れ残りの商品をメンバーが買い取らなければならぬという負担もあり、現在は事前に注文票を配布して取りまとめ、月に2回、市内の食料品店にまとめて注文する形に

定着しました。商品はメンバーが船着き場まで取りに行き、集会所で仕分け。現在では約40世帯が利用し、お盆やお正月は集会所があふれるほどの商品の山になります。

「こうやつて買い物をまとめてくれているから助かっている。復港市場がなくなつたら生活できない」という声もあり、メンバーも「自分たちしく暮らしていくためには、自分たちで何とかしないと！」と、この取り組みが地域にとってなくてはならない存在となっています。

- 集会所まで来ることが難しい方のお宅にはお届けし、お互いに体調を気にかけ合ったり、他愛のない話をして顔の見える「見守り合い」にもつながっています

誰に相談して良いかわからぬときや、近くの知り合いにも聞き難いときなど、どんな些細なことでも、私たち（SC）に「相談ください」。また、本誌を読んで「何かしてみたい」「こんなことを教えてほしい」などでも結構ですので気軽に連絡ください。

生活支援 コーディネーターとは

支え合う地域づくりの現場から

地域での困りごとや地域課題を共有し、
支え合いの仕組み作りに奮闘する
“協議体の今”をお届けします。

山下地区 第2層協議体

山下地区ささえあい会議

荻浜地区 第2層協議体



スマホでつなげる暮らしの安心



担当
コーディネーター
斎藤守克

今後は、警察署や市役所などの詐欺に関する出前講座を通して、地域の防犯意識をより高めていきます。



担当
コーディネーター
須田彩乃

じいばあいーっす！

高齢になってもみんなが助け合い一緒に暮らせる社会!
地域の魅力は、そこに住む人々の魅力でもあります。

周りに恵まれて、毎日が楽しい！

● 蛇田地区
太田 さかえ さん(70代)
おおた



料理店を切り盛りした腕を買われ、今は護施設で食事をつくっています。太田さんは、野菜を差し入れしてくれるご味がして、野菜を差し入れしてくれるごはてきては手料理をふるまい、たくさんの。お客さんは少しだけ料理を期待しつつ、を気にかけてまた顔を出してくれます。「周りに恵まれ、みんなに助けられて暮らしている」と話す太田さんの家からは、今日もおいしそうな匂いと笑い声が聞こえできます。本当に恵まれているのは、太田さんの周りのご近所さんたちかもせんね。

● 釜・大街道地区

みんなの中に入れて幸せ

週1回開催され、12年続くサロン活動に最年長でありながら皆勤賞のしもよさん。そんなしもよさんは、裁縫が得意で、この日もボタンの縫い付け担当でしたが、素早く針に糸を通してみせ、テキパキと作業をしている姿が印象的です。



(担当コーエイネーター 田口夢子)

（担当コーディネーター 西本健太朗）